

**「放送に係る安全・信頼性に関する技術的条件」のうち
「地上デジタルテレビジョン放送等の安全・信頼性に関する技術的条件」
の検討開始について**

「放送に係る安全・信頼性に関する技術的条件」(諮問第2031号)のうち「地上デジタルテレビジョン放送等の安全・信頼性に関する技術的条件」について、以下のとおり検討を進めることとする。

1. 検討の背景

地上系の放送、衛星系の放送、有線放送に関し、放送中止事故等を未然に防ぐなどの措置を行うことを求める観点から、安全・信頼性に関する規定として、予備機器の配備、停電対策、故障検出、応急復旧機材の配備、サイバーセキュリティの確保等を共通に定めている。

ICTの進展に伴い、IP化・クラウド化・集約化による柔軟な機能拡張や効率的なリソース共有を実現する技術が各分野で活用されており、今後は放送分野においても、利便性向上、運用効率化及びコスト低減等の観点から、マスター設備(番組送出設備)を中心に放送設備のIP化・クラウド化・集約化が進むものと想定される。

また、「デジタル時代における放送の将来像と制度の在り方に関する取りまとめ」(デジタル時代における放送制度の在り方に関する検討会 令和4年8月5日公表)においては、「マスター設備の集約化・IP化・クラウド化は、放送事業者の経営の選択肢であることに留意しつつ、その要求条件を総務省において検討・整理すべきである」と提言されている。

これらを受けて、放送設備のIP化・クラウド化・集約化に伴い新たに措置すべき安全信頼対策等、地上デジタルテレビジョン放送等の安全・信頼性に関する技術的条件の検討を行う。

2. 検討内容

平成22年12月21日付け諮問第2031号「放送に係る安全・信頼性に関する技術的条件」のうち「地上デジタルテレビジョン放送等の安全・信頼性基準に関する技術的条件」

3. 検討体制

既設の放送システム委員会(主査:伊丹 誠 東京理科大学先進工学部教授)において検討を行う。また、委員会が必要とする情報を収集し、委員会の検討を促進させるため、別紙1の設置要綱及び別紙2の構成員のとおり、放送設備安全信頼性検討作業班を設置することとする。

4. 今後の予定

別紙3のとおり

5. 一部答申を予定する時期

放送設備のIP化に伴う安全・信頼性に関する技術的条件	令和5年6月頃
放送設備のクラウド化・集約化に伴う 安全・信頼性に関する技術的条件	令和6年6月以降

放送設備安全信頼性検討作業班の設置について

放送システム委員会での放送に係る安全・信頼性に関する放送設備の技術的条件に関する調査について、委員会が調査するために必要とする情報を収集し、技術的条件についての調査を促進させるために、放送設備安全信頼性検討作業班を設置することとする。

1 作業班における調査事項

- (1) 放送の安全・信頼性に関する放送設備の技術的条件に関する事項
- (2) その他

2 作業班の主任及び構成員

別紙のとおり

3 作業班の運営等

- (1) 作業班の会議は、調査事項のうち主査が適宜指示する事項ごとに、主任が招集する。
- (2) 作業班に主任代理を置くことができ、主任が指名する者がこれに当たる。
- (3) 主任代理は、主任不在のとき、その職務を代行する。
- (4) 主任は、作業班の調査及び議事を掌握する。
- (5) 主任は、会議を招集する時は、構成員にあらかじめ日時、場所及び議題を通知する。
- (6) 特に迅速な審議を必要とする場合であって、会議の招集が困難な場合、主任は電子メールによる審議を行い、これを会議に代えることができる。
- (7) 主任は、必要があるときは、会議に必要と認める者の出席を求め、意見を述べさせ、又は説明させることができる。
- (8) 主任は必要と認める者からなるアドホックグループを設置することができる。
- (9) 作業班において調査された事項については、主任が取りまとめ、これを委員会に報告する。
- (10) その他、作業班の運営については、主任が定めるところによる。

4 会議の公開

会議は、次の場合を除き、公開する。

- (1) 会議を公開することにより当事者又は第三者の権利、利益や公共の利益を害する恐れがある場合
- (2) その他、主任が非公開とすることを必要と認めた場合

5 事務局

作業班の事務局は、情報流通行政局放送技術課が行う。

**情報通信審議会 情報通信技術分科会 放送システム委員会
放送設備安全信頼性検討作業班 構成員**

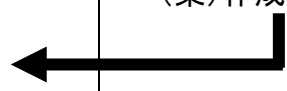
(敬称略、主任以外の構成員は五十音順)

令和4年12月6日現在

主任	甲藤 二郎	早稲田大学 理工学術院 基幹理工学部 教授
	新井 勇太	一般社団法人日本民間放送連盟 企画部 主事
	井上 大介	国立研究開発法人情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所 サイバーセキュリティネクサス ネクサス長
	上原 道宏	一般社団法人ICT-ISAC 事務局 次長
	奥沢 賢一	株式会社文化放送 アドミニストレーション局長 兼 テックイノベーション部長
	小田島 健秀	株式会社フジテレビジョン 技術局 局次長職 放送技術担当
	川島 修	株式会社エフエム東京 執行役員 管理本部 技術局長
	木村 正人	日本電信電話株式会社 技術企画部門 セキュリティ・アンド・トラスト室 次長
	倉田 晃二	日本放送協会 技術局 管理部(施設) エキスパート
	佐々木 博之	パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社 VSBU 技術センター ソフト開発部 アライアンス推進課
	杉澤 洋輝	一般社団法人 日本コミュニティ放送協会 副代表理事
	鈴木 英樹	株式会社日立国際電気 プロダクト本部 放送機器改革推進プロジェクト 副技師長
	砂崎 俊二	株式会社放送衛星システム 総合企画室 専任部長
	田中 亮一	日本電気株式会社 都市インフラソリューション事業部門 第二ソリューション営業統括部 メディアソリューショングループ プロフェッショナル
	樽見 敏夫	株式会社テレビ東京 技術局 専任局長
	秦 慎二	スカパーJSAT株式会社 メディア技術本部 ソリューション技術部 部長
	藤田 和義	株式会社テレビ朝日 技術局 技術業務部 渉外担当部長
	三腰 稔洋	東芝インフラシステムズ株式会社 社会システム事業部 通信放送システム技術部 放送技術担当 マネージャ
	村上 信高	株式会社TBSテレビ メディアテクノロジー局 ステーション統括部 担当部長
	室田 孝昭	日本テレビ放送網株式会社 技術統括局 放送実施部 部長
	山森 尋史	一般社団法人衛星放送協会 技術委員会 委員
	横山 敦司	株式会社WOWOW 技術局 運用技術部 部長
	吉岡 克成	横浜国立大学大学院 環境情報研究院 准教授

(計 23 名)

今後のスケジュール(案)

年月	分科会・委員会	作業班
令和4年 10月	○放送システム委員会(第76回) ・検討内容、検討体制(作業班設置)	
令和4年 12月～ 令和5年 3月	○情報通信審議会 情報通信技術分科会(第168回) ・検討開始報告	○作業班(第1回) ・作業班における検討の進め方 ・放送設備のIP化・クラウド化・集約化に関する技術動向 ○作業班を適宜開催 ・関係者ヒアリング等 ○作業班(第xx回) ・放送設備のIP化に伴う安全・信頼性に関する技術的条件に係る報告書(案)骨子提示
令和5年 4～6月	○放送システム委員会(第xx回) ・作業班検討報告 ・委員会報告書(案)パブコメ開始 (募集期間約1か月) ○放送システム委員会(第xx回) ・パブコメ結果検討 ・放送設備のIP化に伴う安全・信頼性に関する技術的条件に係る委員会報告書とりまとめ ○情報通信技術分科会(第xxx回) ・一部答申審議	○作業班(第xx回) ・放送設備のIP化に伴う安全・信頼性に関する技術的条件に係る報告書(案)作成 
令和5年 7月～		○技術動向等を踏まえつつ作業班を開催 ・放送設備のクラウド化・集約化に伴う安全・信頼性に関する技術的条件の検討